



# 看護部通信

2025年 3月



令和6年度で定年退職・退職される皆様へ、本当にお疲れさ様でした。  
これまで、お世話になった皆さまと共に悩み・語り・学び・実践できたことは私たちにとって宝物です。  
皆様の新たな船出が素晴らしいものとなりますようお祈りいたします。（看護管理室）

## 「長い間、お世話になりました」 K・T

リハセンに異動となり〇〇年、看護部のみなさんをはじめ多職種の方と一緒に、患者さんやご家族を支える医療に関わることができました。看護の楽しさは患者さんの回復と一緒に喜ぶこと、変化を見つけることができることです。それにより自分も成長することができたのではないかと思います。また周囲の人に支えられ、健康で一区切りできたことに感謝で一杯です。本当にありがとうございました。

## 「皆さんお元気で！」

T・S

20歳で看護師となり新卒で脳研センターに入職し39年がたちました。頼もしい指導者、良き同僚、可愛い後輩に恵まれたおかげでここまで頑張ってきたと本当に感謝しております。ありがとうございました。

## 「お世話になりました」

K・Y

センターでの就業期間は短期間でしたが、新たな出会いもあり、辛くも、楽しく過ごすことができました。42年間の看護師生活を終了します。お世話になりました。

## 「ありがとうございました」

T・M

新卒でリハセンに入職し今年で14年目になりました。子育てとの両立に苦戦する毎日でしたが、ここまでやってこれたのは皆さまの優しさのおかげです。心から感謝申し上げます。大変お世話になりました。

## 「感謝の気持ちでいっぱいです」

U・T

新卒でリハセンに入職して11年間、皆様のご指導ご鞭撻のおかげでここまで頑張ってきたなあ感謝の気持ちでいっぱいです。様々な病棟で働いてきて貢献できたこと

…全然ないなあ…

新人の頃の自分、恥ずかしいエピソードしか思い出せないなあ…等色々なことを思いつつ、この11年間一度も病気なく、休まず働くことができたのは、同じ病棟で働いた皆様と「あーでもない、こーでもない」と患者様のことを第一に考えながら苦楽を共にできた日々が、看護師としても、一人の人としても成長できる毎日であつたからだと感じております。リハセンで皆様から教えてもらい、経験できたことを財産とし次のステージでも活かせるよう、自分なりに努力を惜しまず頑張っていきたいと思っております。皆様本当にありがとうございました。



おつかれ  
さまでした!

## 「人生の半分を越えてました」

K・M

平成9年オープン之年に就職したときは25才。たくさんの良い人と出会えたことが私の自慢です。ではまた。

## 「お世話になりました」

D・M

「やった後悔」と「やらない後悔」、どちらが心に残るか――。多くの研究で、「やらない後悔」の方が長く、人の心に残ることが示されています。自身を振り返ると、この12年間は、尊敬できる方々に囲まれ、多くの学びと成長の機会をいただいた時間でした。ご恩を返しきれないことばかりですが、「やらない後悔」を残さぬよう、次の挑戦に進んでみようと思います。

これまで本当にありがとうございました。またご一緒できる日を楽しみにしております。